

科目ナンバー	SEM-4-005-ky			科目名	卒業研究（奥田）		
教員名	奥田 雄一郎			開講年度学期	2020年度 前期～後期	単位数	4
概要	卒業研究においては、課題ゼミで自ら設定したテーマをもとに、実際に心理学的手法(アンケート、実験、観察、インタビュー)を用いて実際に研究を行います。 研究の途中経過については、年に最低3回のプレゼンテーションを行ってもらいます。						
到達目標	卒業研究では、課題ゼミで培った、リサーチ力、整理力、プレゼンテーション力、コミュニケーション力を用いて研究というひとつの課題を解決することが求められる。そのことによって、自ら課題を設定し、それを長期間をかけて達成する課題遂行能力を培うことを目的とする。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力	○	協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	卒業研究においては、適宜個別に指導を行う。研究の進行は自ら計画し、その計画に沿って研究を進めることが期待される。そのため、基本的には講義は行わず、定期的に自らの研究の進行状況をプレゼンテーションしてもらう。						
アクティブラーニング			サービスラーニング			課題解決型学修	○
受講条件 前提科目	3年次において、課題演習Ⅰ・Ⅱを履修していること						
アセスメントポリシー及び評価方法	①指定された発表機会におけるプレゼンテーション能力 40点②研究をまとめた卒業研究論文 60点						
教材	・ゼミにおいては連絡にML・掲示板・Blogを使ったり、分析をコンピュータの統計ソフトで行ったり、ゼミの成果をゼミのHPで公開したりとパソコンを多くの場面で使います。						
参考図書	適宜指定する。						
内容・スケジュール	1 オリエンテーション 2 論文指導 3 論文指導 4 論文指導 5 論文指導 6 論文指導 7 論文指導 8 論文指導 9 論文指導 10 調査指導 11 調査指導 12 調査指導 13 調査指導 14 調査指導 15 調査指導						

Number	SEM-4-005-ky	Subject	Graduation Thesis			
Name	奥田 雄一郎 (Okuda Yuichiro)	Year and Semester	Full-year for 2020	Credits	4	
Course outline	In this "Graduation Thesis" course, based on the theme students decided on in the "Junior Specialty Seminar I" and "Junior Specialty Seminar II", each student will use real psychological methods (questionnaires, experiments, observations, interviews) to actually perform research. Within the research process, students will give presentations at least three times this year.?					